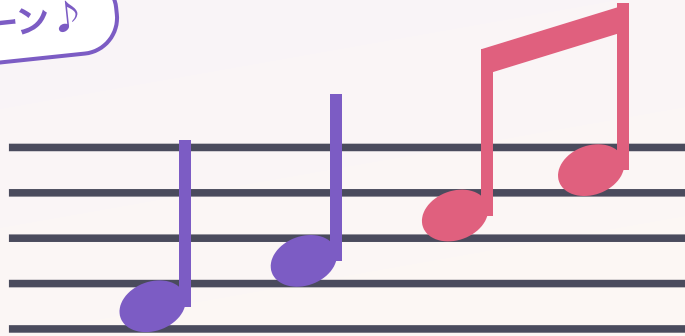


ヴィーン♪



弓でなめらかに！

弦楽器

弓と弦が生み出す、豊かな響き



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

弦楽器を知ろう	3～13
弦楽器の広がり	14～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

弦の振動で音を出す楽器の、大きな仲間です。

オーケストラでは、バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバスの4種類が、弦楽器の中心的な役割を果たしています。



- 弦楽器は、弦の太さ・長さ・張り具合によって、音の高さが変わります。
- 弓を使う楽器と、指ではじく楽器の、大きく2つの弾き方があります。

1. 知っている弦楽器を、書けるだけ書いてみよう。

弦楽器の中で、もっとも高い音を出す楽器です。

violin (ヴァイオリン)

肩にのせて演奏する、弦楽器の中でいちばん小さく高い音の楽器

- オーケストラでは、メロディを受け持つことが多い楽器です。
- 肩とあごではさんで支え、左手で弦を押さえ、右手で弓を動かします。

1. バイオリンの音を、動画や音源で聴いてみよう。

バイオリンより少し大きく、少し低い音の楽器です。

viola (ヴィオラ)

バイオリンより一回り大きく、落ち着いた音色の楽器

ポイント

- 見た目はバイオリンとよく似ていますが、少し大きく、音は少し低めです。
- オーケストラでは、メロディとハーモニーの間をつなぐ役割が多くあります。

やってみよう

1. バイオリンとビオラの音を聴きくらべて、ちがいを感じてみよう。

書いて覚えよう

チェロ

床に立てて演奏する、豊かな低音の楽器です。

チェロ

cello (チェロ)

エンドピンで床に立てて演奏する、大きな弦楽器

ポイント

- 体の間にはさみ、床につけたエンドピンで支えて演奏します。
- 低く豊かな音色で、メロディも低音の伴奏も両方受け持てる楽器です。

やってみよう

1. チェロの音を、動画や音源で聴いてみよう。

書いて覚えよう

弦楽器の中で、もっとも大きく低い楽器です。

contrabass (コントラバス)

立って、または高い椅子にすわって演奏する、いちばん大きな弦楽器

ポイント

- オーケストラの弦楽器の中で、いちばん低い音を受け持ちます。
- ジャズなどでは、指ではじいて演奏されることも多い楽器です。

やってみよう

1. コントラバスの音を、動画や音源で聴いてみよう。

書いて覚えよう

弓を使って弦をこすり、音を出す奏法

指で弦をはじいて、音を出す奏法

- 弓を使うと、音を長くのばした、なめらかな演奏ができます。
- ピチカートにすると、はずむような、軽やかな音になります。

1. アルコとピチカートの演奏を聴きくらべて、音の印象のちがいを書こう。

8

弦の数と音

多くの弦楽器は、4本の弦を持っています。

楽器	弦の本数の目安
バイオリン	4本
ビオラ	4本
チェロ	4本
コントラバス	4本（5本のものもある）

ポイント

- それぞれの弦は、太さや長さがちがいで、決まった高さの音に調律されています。
- 楽器が大きくなるほど、弦は太く長くなり、音は低くなります。

やってみよう

1. 4本の弦を持つ、身近な楽器をほかに知っているか考えてみよう。

書いて覚えよう

弦の振動が、本体全体を震わせて音になります。

楽器ごとに、決まった構え方があります。

弓の使い方入門

弓を弦にまっすぐ当てることが、基本です。

弓 (ゆみ)

bow (ボウ)

弦をこすって音を出すための道具。馬の毛が張られている

ポイント

- 弓は、弦に対してまっすぐ、駒に近い一定の場所で動かすのが基本です。
- 力を入れすぎず、弓の重みを使って音を出すイメージが目安です。

やってみよう

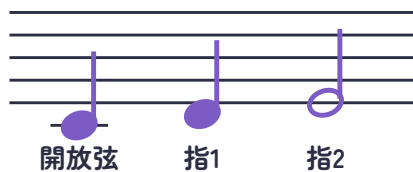
1. 弓を持つまねをして、まっすぐ動かす動作を練習してみよう。

書いて覚えよう

左手の押さえ方入門

指で弦を押さえる場所で、音の高さが変わります。

指の位置と音の高さ



指で押さえる場所が変わると、弦の振動する長さが変わり、音の高さも変わります。

ポイント

- 弦を押さえる指先の位置がずれると、音の高さも少しずれてしまいます。
- 指の腹ではなく、指先で弦をしっかり押さえます。

やってみよう

1. 弦に見立てたひもやゴムを、指先で押さえる位置を変えて、感覚をつかんでみよう。

書いて覚えよう

ハープ・世界の弦楽器

弦楽器には、たくさんの弦を持つ仲間もいます。

ハープ

harp (ハープ)

たくさんの弦を、指ではじいて鳴らす大きな楽器

ハープ

40本以上の弦を持つ、指ではじく楽器

シタール

インドの、共鳴弦を持つ弦楽器

ウード

中東の、フレットのない弦楽器

バラライカ

ロシアの、三角形の弦楽器

ハーディガーディ

取っ手を回して音を出す弦楽器

エルファー（二胡）

中国の、弓で弾く2本弦の楽器

ポイント

- 国や地域によって、弦の数や弾き方に、さまざまな工夫があります。
- 弓で弾く弦楽器は、世界の多くの地域で見られます。

やってみよう

1. 知っている世界の弦楽器を、1つ書いてみよう。 _____

書いて覚えよう

日本の弦楽器（箏・三味線）

日本にも、古くから伝わる弦楽器があります。

箏 (こと)

koto (コト)

13本の弦を、爪ではじいて鳴らす日本の楽器

三味線 (しゃみせん)

shamisen (シャミセン)

3本の弦を、バチではじいて鳴らす日本の楽器

ポイント

- 箏は、弦の下の柱（じ）を動かして、音の高さを調整します。
- 三味線は、猫や犬の皮を張った胴を持つ楽器として知られています。

やってみよう

1. 箏や三味線の音を、動画や音源で聴いてみよう。

書いて覚えよう

4つの弦楽器が、絶妙なバランスで重なります。

バイオリン2・ビオラ1・チェロ1で演奏する形

弦楽器の名曲を聴く・弦楽器の手入れ

名曲を聴くことと、楽器を大切にすることを学ぼう。

弦楽器がよく使われる音楽の種類

オーケストラ曲

弦樂四重奏

協奏曲

映画やドラマの音楽

弦楽器は、豊かな表現力から、さまざまな音楽で主役として使われています。

ポイント

- 演奏後は、弦や本体についた松やにの粉を、やわらかい布でふき取ります。
- 急な温度・湿度の変化は、楽器にとって大きな負担になります。

やってみよう

1. 弦楽器の名曲を1曲聴いて、感想を書こう。

書いて覚えよう

弦楽器の魅力

弦楽器の魅力を、自分の言葉でまとめてみよう。

音の魅力

なめらかさ

弓でつなげる、とぎれない音

幅の広さ

高い音から低い音まで

表現の魅力

強弱

弓の速さと圧力で自在に変化

音色

アルコとピチカートで表情が変わる

ポイント

- 弦楽器は、声に近い、なめらかな表現ができる楽器といわれています。
- 1つの楽器で、多彩な表情を作れることが大きな魅力です。

書いて覚えよう

聴いてくらべよう

2つの演奏をくらべると、ちがいがよくわかります。

くらべるところ	演奏A	演奏B
音の高さ	高め・ふつう・低め	高め・ふつう・低め
奏法	アルコ・ピチカート	アルコ・ピチカート
使われている楽器	_____	_____

ポイント

- 同じ弦楽器でも、種類や奏法によって印象が大きく変わります。
- 聴きくらべると、それぞれの楽器の個性が見つかります。

やってみよう

1. 弦楽器の演奏を2つ聴いて、表を完成させよう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

ひとりでも、みんなでも音を聴き分けてみよう。

A (バイオリンの音の持ちょうを説明する)

B (何の楽器か当てる)

A (別の楽器の音の特ちょうを説明する)

B (何の楽器か当てる)

ポイント

- A が音の特ちょうを言葉で説明し、B が楽器を当てる聴き分けゲームです。
- 音の高さ・音色・大きさなど、注目するポイントを意識すると説明しやすくなります。

ワンポイント むずかしいときは、動画や音源を一緒に聴きながら確認しましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきには、共通した原因があります。

つまずき

よくあること

楽器の音を聴き分けられない

似た音の楽器が多い

名前と音が結びつかない

見た目だけで覚えている

コツ

こうしてみよう

同じ曲を、楽器を変えて聴きくらべる

ちがいに集中して聴く

音を聴きながら、楽器の写真を見る

見た目と音を一緒に覚える

ポイント

- 何度も聴き比べると、少しずつ音の個性がわかるようになります。
- 1つずつ確実に覚えていくことが、聴き分ける力につながります。

やってみよう

1. 自分が聴き分けにくいと感じる楽器を1つ書こう。 _____
2. その楽器の音を、もう一度集中して聴いてみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

オーケストラの弦楽器

☐ バイオリン

いちばん高い音

☐ ビオラ

バイオリンより低い音

☐ チェロ・コントラバス

低い音を受け持つ

奏法の言葉

☐ アルコ

弓で弾く奏法

☐ ピチカート

指ではじく奏法

日本の弦楽器

☐ 箏

13本の弦の楽器

☐ 三味線

3本の弦の楽器

合奏の言葉

☐ 弦楽四重奏

バイオリン2・ビオラ1・チェロ1

☐ 駒

振動を本体に伝える部品

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、演奏を聴くのがもっと楽しくなります。

書いて覚えよう

● オ.弓で弾く奏法

弦楽器の曲を1曲聴く

音色に注目して聴く

アルコとピチカートの音を聴き分ける

弦楽四重奏の曲を聴く

音楽ノートに気づいたことを書く

家族に好きな弦楽器を紹介する

- 1回5分でも、毎日続けることで耳が育っていきます。
- イヤホンで聴くときは、音量を上げすぎないように気をつけましょう。

発表してみよう・感想を書こう

好きな弦楽器を、人に伝えてみよう。

楽器名

好きなところ

音の特ちょう

聴いてほしい人

Ken の例

楽器名 チェロ／好きなところ 低くて落ち着いた音色／音の特ちょう あたたかく、歌うような響き
／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① この楽器は、～な感じがしました。② とくに、～のところが好きです。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

弦楽器の世界は、まだまだ広がります。

もっと知りたい人へ

演奏会へ

弦楽器の生演奏を聴きに行く

動画で

弓の動きをじっくり見る

図書館で

弦楽器の本をさがす

次のステップ

管楽器

息で音を出す楽器を知る

オーケストラ

いろいろな楽器の重なりを聴く

合奏

ほかの楽器と音を合わせる

ポイント

- この教材の次は「管楽器」。楽器の仲間ごとの音の出し方を、さらに広げていきます。

書いて覚えよう

1. 弦楽器とは、どんな楽器ですか。 _____
2. いちばん気になった弦楽器は？ _____
3. これから聴いてみたい曲は？ _____

好きな弦楽器を家族に紹介する

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

弦楽器チャレンジ

教室の外でも、弦楽器はすぐに楽しめます。

見つけよう

弦楽器が使われている曲を1曲探す

聴こう

アルコとピチカートの音を聴き分ける

調べよう

日本の弦楽器を1つ調べてみる

こたえ

L26 アルコ→オ ピチカート→ウ 弦楽四重奏→イ 箏→ア コントラ
バス→エ 2. バイオリン / 3. ピチカート

L33 (例) 弦楽器は、弦の振動を本体で響かせて音を出し、弓と
はじく奏法で表情を変えられる楽器。

書いて覚えよう

弦楽器 (Season 4 | No.37)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。